

第 137 回技術士包装物流会関西支部研究会議事録

平成 29 年 12 月 14 日
関西支部長 高垣俊壽
作成 真野仁孝

開催日時：平成 29 年 12 月 12 日（火）

《研究会》18：00～19：20 《忘年会》19：30～20：30

開催場所：大阪府門真市 パナソニック企業年金基金「松心会館」

《研究会》2F 研修室 《忘年会》1F 大広間

出席者：合計 33 名

◆研究会：

高垣支部長の挨拶から始まり理事会内容のご報告後、新入会者（ザ・パック(株)小林晋哉様）が紹介された。

◆講演会：

演題：「健康経営に向けた効果的な福利厚生制度 CEB のご提案」

講師・内容：

【第一部メットライフ生命保険株式会社シニアエキスパートコンサルタント今西英昭様】

1. 日本は超高齢社会を迎え、生産年齢人口は年々減少しており、人材不足が社会になっている。人口減少社会の到来、メガトレンドの変化、雇用環境の変化に対応していくことは、日本の企業、特に中小企業にとって火急の課題である。
2. その中であって、政府は企業に従業員の健康づくりに取り組む「健康経営」を推している。経済産業省は、健康経営優良法人認定制度を提唱するなど「健康宣言」を行い、企業の健康経営を後押ししている。
3. 健康経営とは、「社員が健康でなければ企業は適切な利益を出すことはできない。健康な社員は会社の資産」という視点に立ち、経営者がリーダーシップをとって社員の健康増進を戦略的に実践すること、である。
4. 健康経営に取り組むことによって得られる効果として、「生産性の向上」、「費用負担の軽減」、「リスクマネジメント」、「イメージアップ」の 4 つがあり、そのために福利厚生制度を見直す必要がある。

【第二部 株式会社日本トリム 京都営業所 主任 廣瀬仁寛様】

1. 株式会社日本トリム様は、医療用の水（高濃度電解水素水）を製造する装置を販売する会社で、東証一部上場企業である。当社の装置は管理医療機器として認定されている。
2. 高濃度電解水素水の効果は、ヤフー記事や日経記事にもなり、活性酸素を消す効果があり、実際に「イソジン」に高濃度電解水素水を加えることで「イソジン」の茶色を消したり、緑茶に高濃度電解水素水を加えることにより緑茶の緑色が出やすくなることを、水道水やミネラルウォーターとの比較試験を目の前で行い、分かり易く示された。
3. 高濃度電解水素水は、吸収性や浸透性が良くお腹に溜まらないため、熱中症対策にもなるとの説明があった。この装置を職場に設置することにより、健康経営の第一歩とすることを推奨された。

※最後に、発表後も「健康経営について」の質疑応答もあり、理解を深めることが出来ました。

◆忘年会：12 月 12 日（火）19:30～20:30 出席者：31 名 松心会館 大広間

宮木様の乾杯の音頭で開会し、金井様の中締めで閉会した。

◆第 138 回研究会予定：平成 30 年 2 月 7 日（水）：第 4 回関西支部「技術士受験説明会」

1. 基調講演 真野仁孝氏（技術士/経営工学部門）
2. 合格までの苦労話とパネルディスカッション（質疑応答含む）
 - ①真野仁孝氏（技術士/経営工学部門 生産マネジメント）
 - ②野々山和行氏（技術士/経営工学部門 ロジスティクス）
 - ③埴 泰之氏（技術士/経営工学部門 生産マネジメント）



講演されるメトライフ生命の
今西コンサルタント様



講演される日本トリムの
廣瀬主任



入会されたザ・バック
の小林様



乾杯の宮木様



忘年会に参加の皆様



締めの金井様